

平成 24 年度 NPO 法人もったいない学会通常総会

日 時 2012 年 5 月 14 日 13 時 15 分から 13 時 45 分

場 所 東京大学山上会館大会議室

【総会資料】

■ 次第

1. 開会
2. 総会成立要件の確認
3. 会長挨拶
4. 議長の選出
5. 議題審議
 - (1) 第 1 号議案 平成 23 年度事業報告及び決算報告の件
 - (2) 第 2 号議案 平成 24 年度事業計画及び予算計画の件
 - (3) 第 3 号議案 役員(理事・監事)の選任の件
 - (4) 第 4 号議案 議事録署名人選任に関する件
6. 閉会

第1号議案 平成23年度事業報告及び決算報告の件

I. 平成23年度事業報告

(概況)

皆様のご支援、ご協力のもと、社会に貢献できる学会に発展させるべく、平成23年度も精力的に活動を行いました。

以下に平成23年度の活動状況の詳細をご報告いたします。

【定款で定められて学会の目的は以下の通りです】

「この法人は、広く一般市民に“石油ピーク”を啓蒙し、石油を大切に使う方策を検討し、その知識、知恵を広く一般に広げることによって、心豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。」

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

主催シンポジウムを1回、共催シンポジウムを1回実施した。

1-1) 「エネルギーの科学研究会・GDH研究会合同シンポジウム」

主催：NPO法人 もったいない学会

【日時】2011年5月17日 14:20-16:50

【会場】東京大学本郷キャンパス山上会館201、202号室

【講演】

- ・石井吉徳 もったいない学会会長
「低エネルギー社会と日本のプランB」-3・11後を考える
- パネル討論：（100分）
- ・早坂房次 電力供給の行方（10分）
 - ・松島潤 EPRクリフ（10分）
 - ・田村八洲夫 低エネルギー社会におけるGDH（10分）
 - ・加藤文子 自立する地域づくり（10分）
 - ・アントニーFFボーイズ 究極的な低エネルギー社会のイメージ（10分）
 - ・五十嵐敏郎 持続可能な交通システム（10分）

【参加者数】37名

1-2) 「石油文明が終わる：日本はどう備える」

日時：2012年2月20日（月） 13:00～17:00（17:30～懇親会あり）

場所：東京大学（本郷キャンパス） 山上会館 大会議室

主催：社団法人 日本工学アカデミー人類未来戦略フォーラム

共催：NPO法人 もったいない学会

協力：フィンランド技術庁

【講演】

- ・基調講演「崩壊するエネルギー基盤：世界はその先に何を見るのか」
石井吉徳（日本工学アカデミー 人類未来戦略フォーラム 代表／もったいない学会 会長）
- ・映画上映「100,000年後の安全」
- ・招待講演「Onkalo and it's role in Finish Energy System」
（オンカロ、フィンランドエネルギーシステムにおけるその役割）
レイヨ・ムンター（フィンランド技術庁 技術参事官）
- ・講演1「財源がないから増税は正しいのか？」
旭岡勝義（(株)社会インフラ研究センター 代表取締役／もったいない学会 理事）
- ・講演2「石油文明後の低エネルギー社会は国民幸福社会
～ GDP指標から日本の進歩指標（JPI）への転換～」
田村八洲夫（NPO法人あきた地球熱利用事業ネットワーク 副理事長）

【参加者数】60名

2) サロンの開催

以下の3回のサロンを実施した。

第1回サロン

【日時】2011年7月25日(月)15:00から17:00
【会場】東大本郷キャンパス山上会館2階201・202会議室
【講演】
演題(1):電力業界を取り巻く諸情勢について
講演者(1):早坂房次(東京電力)
演題(2):風力発電の現状と展望
講演者(2):林 農(鳥取大学名誉教授)
【参加者数】23名

第2回サロン

【日時】2011年9月30日(金)15:00から17:00
【会場】東京大学本郷キャンパス工学部2号館211教室
【講演】
演題(1):日本におけるBalloon Graph(エネルギーの量と質のマップ)の作成
講演者(1):鎗谷浩明(東京大学大学院工学系研究科修士1年)
演題(2):石油生産キャパシティー予測2011と産油国の新エネルギー事情
講演者(2):茂木 源人(東京大学大学院工学系研究科准教授)
総括:もったいない学会会長 石井吉徳(東京大学名誉教授)
【討論】
【参加者数】18名

第3回サロン

【日時】2011年12月16日(金)14:00-17:10
【会場】TKP神田ビジネスセンター 603会議室
【講演】
演題(1):国際エネルギー機関(IEA)「世界エネルギー見通し2011」とA.S.Hall「EPRパ
ルーン」の問題点
講演者(1):小野章昌 Ono Akimasa(もったいない学会員)
演題(2):太陽熱利用住宅を測る-EPR評価と放射線量計測
講演者(2):石川 宏 Ishikawa Hiroshi(もったいない学会員)
演題(3):日本沈没にどう対応するか?
講演者(3) 芦田 譲 Ashida Yuzuru(もったいない学会副会長)
【参加者数】20名

3) WEB会誌発行

以下の論文2件を掲載した。

【論文】「福島原発暴走事故による放射能汚染 -受忍するか、選択するか、それとも逃避する
か-」安藤 満

【論文】「原油高騰が社会へ及ぼす影響に関する調査研究」鎗谷 浩明・松島 潤

4) 部会・研究会活動

部会とは、特定の目的に対して学会員の有志によって広く継続的に研究を行う集まりです。

4-1) エネルギーの科学研究会

第2回エネルギーの科学研究会

日時:2011年4月13日(水)3時-5時

場所:東大本郷キャンパス工学部4号館3階 旧地球システム会議室

松島潤(東京大学)

話題提供(1):非電化工房の藤村著「テクテクノロジー革命」の紹介

早坂房次(東京電力)

話題提供(2):地震による電力不足について

4-2) 低エネルギー社会WG

・福岡県中小企業家同友会開催講演会(もったいない学会共催)

どうなる日本のエネルギー問題!? 石油ピークと3・11後の地域社会を考える

～これからの脱浪費社会とは～

講演者:石井吉徳

- 時間 2011年 7月11日(月) 18:20 ~ 20:30
- 場所 福岡同友会会議室 (福岡県中小企業振興センター11F)
(福岡市博多区吉塚本町9-15 TEL:(092) 686-1234)
- 参加費 ¥1,000円
- 主催 福岡県中小企業家同友会 地球環境問題委員会
- 共催 NPO法人もったいない学会

4-3) GDH・食料問題研究会

- ・2011年3月13日開催予定の「非電化工房共同セミナー」を中止。
- ・研究会開催

【日時】 4月18日(月) 3時~5時

【場所】 東京大学工学部4号館会議室

【議題】 「大地震・大津波および福島第一原発クライシスに直面して、我々のなすべきこと」プレーストリーミング

- ・2012年度に入り、3.11以後の活動の在り方を模索

4-4) 3.11 と JPI フォーラム

- ・2011年12月16日理事会で「3.11 と JPI フォーラム」を設立
3.11 後の時代要請から、GDH・食料問題研究会を解散継承し、「GDPの欠陥を克服して、日本に適合した持続可能な真の進歩指標(JPI)の創成と実践」を意図して、会員・非会員にオープンなフォーラムとする。(*) JPI=Japan Progress Indicator
- ・第一回 3.11 と JPI フォーラム :2012年1月23日(月)
石井会長「3.11 後の日本、2012年の展開を占う」他、およびプレーストリーミング
- ・第二回 3.11 と JPI フォーラム :2012年3月19日(月)
石井吉徳会長:基調講話「3.11、一年目に当たって」
鈴木 秀顕 :地域活動報告(仙台、日光、いわき)
田村八洲夫 : JPI 開発の考え方と問題点について

5) その他の啓蒙活動

5-1) 書籍出版

「石油文明が終わる 3・11 後、日本はどう備える」2011年11月30日発行(300冊)・頒価 1,000円(税込・送料実費)

目次

- 崩壊するエネルギー基盤、世界はその先に何を見るのか 5
もったいない学会会長・東京大学名誉教授 石井 吉徳
- 低エネルギー社会のパラダイム 31
産業技術総合研究所 大久保 泰邦
- エネルギー収支比的視点がなぜ重要なのか53
— エネルギー収支の社会的科学的アプローチ —
東京大学准教授 松島 潤
- 石油文明後の低エネルギー社会は国民幸福社会 81
もったいない学会理事 田村 八洲夫
- 石油ピーク後の食料をどうするのか105
A n t o n y F . F . B o y s
- 地域における企業経営のこれから127
中小企業家同友会全国協議会事務局長 松井 清充

5-2) コラムサイト(シフトム)

もったいない学会の情報発信サイト「シフトム」は、平成22年7月に開設され、現在までに100本超のコラムが投稿されている。平成23年度は、開設以来、初めて1年を通じてサイトが稼働した年となったが、この1年で約50本のコラムが新たに投稿されている。平成23年度は、約7万のページビューを記録している。石油ピークおよびその関連領域についての情報発信・オピニオンサイトとして、平成24年度についてもさらにアクセス数を増やすよう、コラムの投稿頻度の向上を図っていきたい。

5-3) 2012年2月20日共催シンポジウム「石油文明が終わる：日本はどう備える」の内容を

日本工学アカデミー機関誌（INFORMATION）に掲載

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

- ・ 5 回開催。

（平成 23 年 5 月 17 日、7 月 25 日、9 月 30 日、12 月 16 日、平成 24 年 2 月 20 日）

- ・ 適宜メール審議

※理事会議事録（メール審議含む）は学会 HP で公開しております。

2) 総会

通常総会を 1 回開催した（平成 23 年 5 月 17 日）。

3. 会員の状況

会員の現況（平成 24 年 3 月 31 日現在）

※カッコ書きは前年度

正会員：145 名（145 名）

一般会員：172 名（172 名）

学生会員：6 名（6 名）

賛助会員：6 名（6 名）

計：329 名（329 名）

II. 平成 23 年度決算報告

下記資料を参照下さい。

- ・ 収支計算書（案）
- ・ 貸借対照表（案）
- ・ 財産目録（案）
- ・ 監査報告書

年度 23 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位:円)

科 目	金 額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入(入会金含む)		
会費収入	915,000	915,000
2 事業収入		
(1) 教育・啓発事業収入		106,630
(2) その他事業収入		
3 補助金等収入		
地方公共団体補助金収入		
民間助成金収入		
4 寄付金収入		
5 その他収入		
利息収入	222	222
任意団体からの繰入金		
6 その他の事業会計からの繰入		
経常収入合計		1,021,852
II 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 情報提供事業費	136,250	
(2) 教育・啓発事業	727,519	863,769
2 管理費		
役員報酬	0	
給与手当	0	
振込手数料	7,770	
消耗品費	3,748	
事務委託料(事務局での通信・印刷費含)	242,871	
租税公課	0	
経常支出合計		254,389
経常収支差額		1,118,158
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入		
その他の資金収入合計		
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出		
その他の資金支出合計		
当期収支差額		-96,306
前期繰越収支差額		1,166,926
次期繰越収支差額		1,070,620
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
1 資産増加額		-96,306
当期収支差額(再掲)		-96,306
2 負債減少額		0
増加額合計		-96,306
VI 正味財産減少の部		
1 資産減少額		0
当期収支差額(再掲)(マイナスの場合)		0
2 負債増加額		0
減少額合計		0
当期正味財産増加額(又は減少額)		-96,306
前期繰越正味財産額		1,166,926
当期正味財産合計		1,070,620

(注記)備考の5を参照

(備考)

1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

平成 23 年度

会計貸借対照表

平成24年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	1,070,620	
未収入金		
.....		
流動資産合計		1,070,620
2 固定資産		
土地		
建物		
車両運搬具		
.....		
固定資産合計		0
資産合計		1,070,620
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
未払金		
.....		
流動負債合計		
2 固定負債		
長期借入金		
退職給与引当金		
.....		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	1,166,926	
当期正味財産増減額	-96,306	
正味財産合計		1070620
負債及び正味財産合計		1,070,620

平成23年度

会計財産目録

平成24年 3月31日現在

特定非営利活動法人

石油ピークを啓蒙し脱浪費社会をめざすもったいない学会

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金		
普通預金	1,070,620	
未収入金		
未収会費		
.....		
流 動 資 産 合 計	1,070,620	
2 固定資産		
土地		
建物		
車両運搬具		
.....		
固 定 資 産 合 計	0	
資 産 合 計		1,070,620
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
預り金		
.....		
流 動 負 債 合 計	0	
2 固定負債		
長期借入金		
退職給与引当金		
.....		
固 定 負 債 合 計	0	
負 債 合 計		0
正 味 財 産		1,070,620

監査報告書

私は、定款に基づき、平成 23 年度の事業報告書、収支決算書の監査をした結果、いずれも適正かつ正確に執行されていたことを認めます。

2012 年 5 月 10 日

もったいない学会

監事 大久保 泰邦

(自書)

大久保 泰邦 印

監事 佐藤 裕久

(自書)

佐藤 裕久 印

第 2 号議案 平成 24 年度事業計画及び予算計画の件

平成 24 年度事業計画（案）

【方針】昨年度の活動に引き続き、石油ピーク後ならびに 3・11 以降の大きな変化に対する方策の具現化に向けて、有効な提言、草の根的な関連組織との連携・国際連携を深め、社会への浸透性を高めていきます。さらに、メディアなどに働きかける等、新しい「本質的な」流れを創っていきます。

1. 学会事業活動

1) シンポジウムの開催

平成 24 年度中にシンポジウムを 2 回程度開催する。地域での普及も重視した地方開催も予定しています。

2) サロンの開催

平成 24 年度中にサロンを 6 回程度開催する。

3) 出版事業

・WEB 会誌発行

「もったいない学会 WEB 学会誌」の編集・公開業務を行う。特集号を企画する等して論理深度を深める。

・啓蒙・教育を目的とした新規刊行物の作成・出版・販売

4) 学会 WEB の発信力向上

調和性・戦略性を十分吟味することにより情報発信力の向上につとめ、信頼・支持される学会 WEB を構築する。学会 WEB、コラムサーバ等におけるコンテンツ内容・構成の工夫に努める。

5) 部会、WG、研究会活動

(a) エネルギーの科学研究会

エネルギーの科学研究会では、いろいろなエネルギーのエネルギー収支、成長の基盤となる余剰エネルギー量や、エネルギー開発に伴う環境劣化を明らかにするとともに、脱石油社会のあり方を研究する場を創出する。

主な研究テーマは以下の通りです。

・在来型、非在来型石油開発の実態に関する研究

・原子力に関する研究

・水力、地熱、太陽、風力、波力、潮力、バイオ資源などの自然エネルギー開発に関する研究

・資源開発が環境に与える実態に関する研究

・EPR に関する研究

・輸送用のエネルギーに関する研究

・脱石油社会のあり方に関する研究

【活動計画】

①シンポジウム、ワークショップ、研究会の開催

シンポジウムを 2 回程度開催する。

(b) 低エネルギー社会 WG

(1) 日本の特徴を生かした生き方

(2) 現在のインフラを上手に使った生き方

(3) 自給自足できる欧州連合のようなサブリージョン（バイオリージョンより広い越境的な国際社会単位）を目指した生き方。

シンポジウムを 2 回程度開催する。

(c) 3.11 と JPI フォーラム

■ 課題

- (1) JPI の作成
- (2) 国民幸福社会へのプロセス研究
- (3) 地域社会再生の実践・・・・・・・・エネルギー自給・食料自給・地域金融
- (4) 立体農業の実証モデル探索

■ 活動スタイル

- (1) エネルギーの科学研究会、低エネルギー社会 WG との連携
- (2) 新人の発掘・他の団体との連携
- (3) 啓蒙活動-----シンポジウム、サロン、出版
- (4) 提案活動-----政財界・関係学界・自治体等への提案活動

6) 表彰など

顕著な事業を行っている活動者・団体を顕彰する。

2. 学会運営に関する会議の開催

1) 理事会

平成 24 年度中に 6 回開催する。

2) 総会

通常総会を 1 回開催し、必要に応じて臨時総会を開催する。

平成 24 年度事業予算計画（案）

平成 24 年度 予算（案）		（単位：円）	
収入の部		支出の部	
項目	予算	項目	予算
会費収入	900,000	事業費	700,000
正・一般・学生会員	690,000	シンポジウム開催	200,000
賛助会員	180,000	WEB サーバルレンタル費	150,000
正会員入会金	30,000	WEB 会誌編集費	10,000
		総会・理事会開催費	10,000
事業収入	100,000	新規刊行物作成費	180,000
書籍販売・シンポジウム開催	100,000	研究会活動・サロン開催費	150,000
		管理費	300,000
		事務作業委託費(印刷・通信費含)	270,000
		振込手数料	15,000
		消耗品費	10,000
		租税公課	5,000
小計	1,000,000	小計	1,000,000
昨年度からの繰越金	1,070,620	予備費	1,070,620
収入合計	2,070,620	支出合計	2,070,620

第3号議案 役員（理事・監事）の選任の件

定款第3章第16条により、役員（理事・監事）の任期の記載があります。

（任期等）

第16条 役員（理事・監事）の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠のため、又は増員により就任した役員（理事・監事）の任期は、それぞれの前任者又は現任社の任期の残存期間とする。

3 役員（理事・監事）は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

以下の理事12名および監事2名の候補者をそれぞれ理事・監事に再任していただきたくお願いいたします。また、あらたに理事2名の新任させていただきたくお願いいたします。

なお、役員（理事・監事）の任期は次期役員が選任されるまでの2年間となります。

理事

石井 吉徳（留任）

芦田 讓（留任）

安藤 満（留任）

林 農（留任）

福田 正巳（留任）

旭岡 勝義→（改名）旭岡 叡峻（あさひおかえいしゅん）（留任）

小川 克郎（留任）

田村 八洲夫（留任）

加藤 文子（留任）

早坂 房次（留任）

山本 達也（留任）

松島 潤（留任）

監事：

大久保 泰邦（留任）

佐藤 裕久（留任）

三ヶ田 均（理事・任期満了・退任）

福島 陽子（理事・任期満了・退任）

※ 佐藤裕久理事の監事への異動報告

大久保監事の海外赴任に伴い、適切な監査業務を維持するために佐藤裕久理事を監事に異動する件が理事会（2011年7月25日）にて審議され了承されましたことをご報告いたします。

第 4 号議案 議事録署名人選任に関する件

定款第 4 章第 29 条（総会の議事録）により、議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない、とあります。
議事録署名人について、議長より本日出席の正会員の 2 名を指名し、お諮りします。